

総合教育会議 参考資料

宮崎県日向市の キャリア教育

- ※ 日向市キャリア教育支援センターホームページより
- ※ 九州地区市町村教育委員会研修大会資料より



日向市キャリア教育支援センター TEL:0982-57-3522

お問い合わせ

TOP

センター概要

よのなか教室

その他の活動

メッセージ

ブログ

あいさつ

あいさつ

スローガン

懇話会

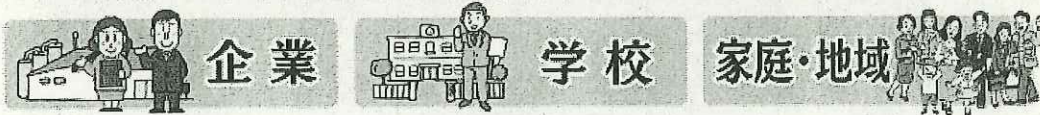
あゆみ

日向の子供たちの未来づくり

子供たちが、自立した社会人・職業人としてたくましく社会を生き抜くために、社会的・職業的自立の基礎となる能力や態度を育てる。

～学校と家庭、地域、企業をつなぎ、小中高を見通したキャリア教育を推進する。～

日向の大人はみな子供たちの先生(よのなか教室)



日向市キャリア教育支援センター

日向市キャリア教育推進懇話会

県教育委員会

日向商工会議所

日向市市長部局
教育委員会

日向商工会議所を中核としたキャリア教育の推進

戻る





日向市キャリア教育支援センター TEL:0982-57-3522

お問合せ

TOP

センター概要

よのなか教室

その他の活動

メッセージ

ブログ

センター概要

あいさつ

スローガン

懇話会

あゆみ

「日向市キャリア教育支援センター」

所在地：〒883-0044
宮崎県日向市上町 3-15 日向商工会議所 2 階

TEL：0982-57-3522

■支援センター

センター長 水永 正憲
(元 旭化成株式会社 延岡支社長)
携帯：080-4002-8167

コーディネーター 富山 隆志
(JICA 九州 宮崎県北地域国際協力アドバイザー)
(元 延岡工業高校校長)
携帯：090-2096-2430

コーディネーター 寺町 晃
(元 日向市教育部長 前 日向商工会議所事務局長)
携帯：090-4357-0127



■日向商工会議所

黒木 正一 (専務理事)

田原 悦子 (経営指導課係長)

■日向市教育委員会

高森 賢一 (学校教育課課長補佐)

岩原 教昌 (学校教育課指導主事)

(C)Yahoo Japan,(C)ZENRIN

YAHOO! JAPAN

200 m

詳しい地図で見る? | 行き方を調べる



「キャリア教育」への取組の経緯

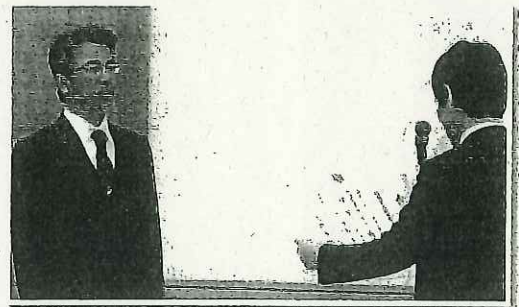
- 平成24年 宮崎県教育委員会 答申と方針決定
 「小中高12年間を見通した宮崎にふさわしいキャリア教育の推進」
 ・縦（小・中・高校）と、横（学校・家庭・地域・企業）の連携
 ・地域キャリア教育支援センターの設置
- 平成25年 日向商工会議所に「日向市キャリア教育支援センター」が開所
 「日向市キャリア教育推進懇話会」が発足
 商工会議所常議員会、校長会、教頭会、教務主任会、教育委員会等と意見交換
- 平成26年 日向市内モデル3校（小中校）にて、具体的推進計画と検討
 「よのなか教室」がスタート、「よのなか先生」登録拡大活動を開始
- 平成27年 日向商工会議所主催にて各種研修会開催（企業合同研修、新赴任教職員研修）
 「キャリア教育通信」の発刊と全教職員への配布
 日向市未来創造戦略（地方創生戦略）にキャリア教育が位置付けられる
- 平成28年 高校生を核とした「高校よのなか教室」の推進
 「よのなか先生」研修会の充実（教職員の参加が増加）
 保護者（PTA）への啓発活動に着手
 建設業協会等の業界団体との連携

日向商工会議所が
 第六回キャリア教育推進連携表彰の
 「最優秀賞」を
 受賞



授賞する日向商工会議所 三輪純司会頭

日向市立 財光寺小学校が
 「文部科学大臣表彰」を
 受賞



授賞する財光寺小学校 三樹和幸校長



平成29年1月17日
 「キャリア教育推進連携シンポジウム」が
 東京 国立オリンピック記念青少年総合
 センターに於いて開催された



産官学の高度な連携によるキャリア教育の推進



商工会議所の強力なリーダーシップ

- 人手不足時代を先取りして、将来の産業人材としての小中高校生の育成に着手



行政の先進的な取組

- 「日向市未来創造戦略」(地方創生戦略)に、ふるさとを愛し日向の未来を支える人財の育成を位置付け(「よのなか教室」を核としたキャリア教育支援事業の推進を明示)



教育委員会による学校(先生方)との連携の深化

- 校長会、キャリア教育担当者会、教職員研修講演会などの積極的な展開

⇒ 「地域と企業」が、「学校(先生方)と、子供たちと、保護者」をサポート(“学校応援団”をめざす)

「よのなか教室」

「日向の大人はみな子供たちの先生」

- 新人も、中堅の人も、管理職の人も、社長さんも、お店を経営している人も、農林水産業の人も、仕事をリタイアした人も……
- 現在200名が登録 ⇒ 300人を目標に登録拡大推進中



ねらい

1. 子供たちに「将来どう生きるか」を考えさせる機会を増やしたい
2. 子供たちの学ぶ意欲を高め「学力を向上」させたい
3. 日向を子供たちが「喜んで住み続けたい」と思う街にしたい



次世代を担う子供たちに伝えたいこと

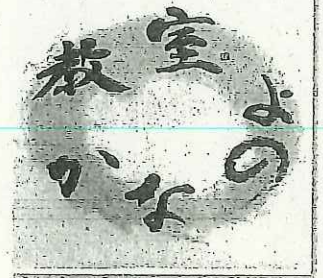
それは、「働く喜びと苦労」

それを、「大人が本気で語ること」



「よのなか教室」実施結果<平成28年度(1年間)>

- 実施学校数 21校 / 25校
- 実施回数 119回
- 講師数 346人+56人(中高生)
- 参加児童生徒数 10,101人



* 小学校	10校 / 13校	55回	159人 + 29人	3,266人
* 中学校	7校 / 7校	42	121 + 27	4,302
* 高校	3校 / 4校	20	64	2,490
* 特別支援	1校 / 1校	2	2	43

「よのなか教室」の持つ力

1. 「よのなか教室」では、社会人講師が決まったら、必ず事前に講師の職場を訪問して、打合せをすることになっている。
⇒ 先生方が、気付き、意識が変わる。
2. 若い社員、中堅社員が子供たちの前で話すことで、一旦立ち止まって考える機会になり、仕事観を見直す気付きになる。
⇒ 社員が成長する場になる。
3. 退職後の人が、「子供たちから元気をもらった」と。
⇒ シニアの人たちの生きがい生まれる。
4. 子供たちが、普段先生から聞いていた話が、現実のことと符合することに気付き、理解が深まる。
⇒ 子供たちも成長する。

日向市立財光寺小学校

1 学校のもつネットワークや人材を活用した実践

① 小高の連携

～近未来とつながる～

小学校高学年にとっての近未来で活躍している生徒の考えを聞いたり、意見交流することによって、今、何を成すべきかを考える契機とし、今の生活の改善を図る。(道徳)

高校生の学びを小学校の生活科や家庭科で生かし、授業の活性化し、高校生生活を想起させる。



② 学校技術員の活用

～関わるスタッフの開発～

キャリア教育を教諭だけで進めるのではなく、学校内の人材をフル活用することで、児童にとっての身近な「働く人」の価値感に触れ、学校内人材のとらえ方を変える。



2 外部人材のプロの技術を生かした実践

① 教科での活用

外部人材のプロのスキルを教科指導に活用し授業を活性化(国語科における新聞記者、図画工作科におけるデザイナーの活用)



② 実感を大切にした実践

外部人材のプロの技術と自分を比較させ、実感を伴った驚きを大切に、学びの意欲向上(学級活動、清掃指導)



③ 異文化との繋がり

セネガルのリンネール市ホルホル小学校とのビデオレター交換による国際理解と主体的発信を目的とした総合的学習の展開



3 教職員の主体性を生かした実践

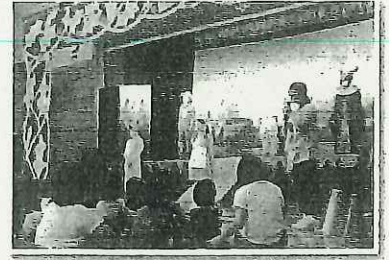
① 教職員の社会観の醸成

夏季研修で、地元企業の見学や経営者との協議、受験科目とは関係ない芸能教科に関連する芸術体験学習や協議を通して教師の世界観を拡大



② 行事との関連強化

行事に関わる外部人材を活用し、「働く意味」や「働く喜び」、学生のうちにしておくことなどを語ってもらい、児童の社会観、職業観を拡大



③ 外部人材の発掘

外部人材の学習会（主催：日向商工会議所）に参加して、学習にマッチする講師を探し、授業計画



4 PDCAサイクルの改善の常態化

① 継続的評価

20項目に及ぶキャリア教育に関する評価を経年的に続け、その評価を元にした学習を展開

② 前例踏襲主義に陥らないような新たな実践を広げ、多彩なアプローチを展開

③ PTA新聞による特集記事やHP等でのリアルタイムの情報発信を行い、保護者の理解を深めた実践基盤の醸成

